

**原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ
戦略的原子力共同研究プログラム 事後評価総合所見**

研究開発課題名：低線量率長期照射による個体レベルでの遺伝子発現変化の解析

研究代表者（研究機関名）：小野哲也（国立大学法人東北大学）

再委託先研究責任者（研究機関名）：根井充（独立行政法人放射線医学総合研究所）

再委託先研究責任者（研究機関名）：小木曾洋一（財団法人環境科学技術研究所）

研究期間及び研究経費：平成21年度～平成23年度（3年計画） 87百万円

項目	要 約
1. 研究開発の概要	低線量率放射線を長期間連続被曝したときの個体レベルでの障害発生のメカニズムを明らかにするためにマウスを用い脳及び肝臓での持続的遺伝子発現変化の有無について mRNA と蛋白質を指標として網羅的な解析をする。
2. 総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px; text-align: center; width: 30px; height: 30px; line-height: 30px;">B</div> <div> <p>・本研究は基礎的なデータ収集を主眼とした実験研究であり、ヒトへのリスク評価への寄与という点に関しては物足りない面もあるが、計画された実験は実施され、従来の手法の課題も明らかにされている。成果は論文等にまとめられており、相応の成果が挙げられている。</p> <p>S) 極めて優れた成果が挙げられている A) 優れた成果が挙げられている B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんど挙げられていない</p> </div> </div>